

助産所部会主催 研修Ⅰ

【開催日時】平成25年9月19日（木） 13:30～16:30

【会場】とわ助産院 研修室

【講演1】常位胎盤早期剥離の予兆と判断

講師 横浜市立大学附属市民総合医療センター

総合周産期母子医療センター 助教 倉澤健太郎先生

神奈川県助産師会 助産所部会には、常位胎盤早期剥離事例が毎年報告されています。平成24年は分娩件数全体の0.2%で、他人事ではなくいつでもどこでも起こりうる症例といっても過言ではありません。そこで、横浜市大センターで産科医として多くの症例を目の当りにされている倉澤先生を講師にお招きし、臨床現場で日々活動している助産師が、いかに「予見と判断」によって産科的危機状況を免れるかを研鑽する場を設けました。



参加者の皆様のご感想（一部ご紹介）

- 実例やモニターがあり、ユーモアあり、楽しく分りやすかった。今後役立てて生きたい。
- 今後の診断の目安のひとつとして活かしていきたい。
- 勉強しているつもりだったが、見逃していることが多いことがあると感じた。
- 喫煙でリスクが上がるということを知りませんでした。妊婦さん自身が自分の身を守るためにも、こんな病気があるということを伝えていく必要があると感じました。
- CTG所見、妊婦さんの症状など見落とさないように注意深く係わっていく必要があると思いました。

（貴重なご意見・ご感想ありがとうございました。）

【講演2】妊産婦の冷えと改善

講師 天空洞治療院 副院長 福岡美紀先生

近年、女性の冷えが多く、冷えから起こりうる妊産婦への影響を考え、東洋医学の福岡先生を講師にお招きし、専門職として妊産婦への保健指導の知識を更に深めていただくこととしました。



中医学の基本となる哲学観



陰陽論



五行論



参加者の皆様のご感想（一部ご紹介）

- ずぼらな私には、大変という感じもしましたが、まあ面白い話でした。
- もっと広く知りたいと思った。食事や生活、予防のこと。内容が濃かった。
- 中医学の基本的な考え方から、明日にも活用できる、具体的な指導の内容までに至り、興味深い内容のお話が聞けて良かったです。

（貴重なご意見・ご感想ありがとうございました。）

次回「助産所部会主催 研修Ⅱ」のお知らせ

【日時】平成25年11月30日（日）13:30~16:30

【会場】とわ助産院 研修室

【内容】1. 医療事故は何故起こるのか

講師：江戸川大学メディカルコミュニケーション学部 教授 隈本邦彦先生

2. CTGの判読と共通言語を図ろう

講師：関東労災病院 産婦人科部長 香川秀之先生

※ 詳しくは、神奈川県助産師会のホームページをご覧ください。

http://kanagawa-josanshi.com/attendant/inquiry-workshop.html?workshop_id=45

